

みんなで仕上げる作文プリント(名前)

名前)

()

題名

はじめ

なか

(具体例)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

なか

(言いたいこと・伝えたいこと)

--	--	--

おわり

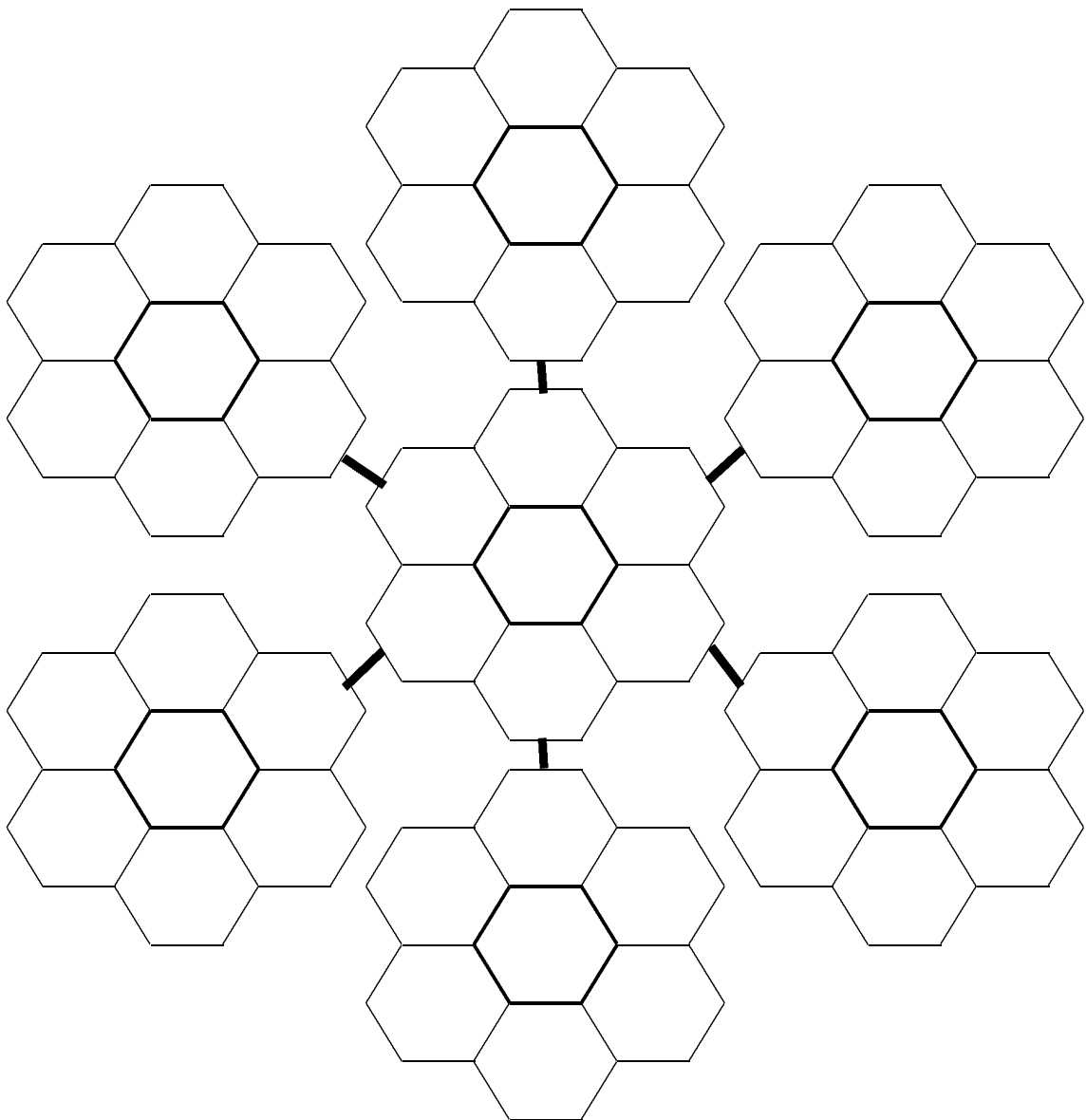
--	--	--

みんなで仕上げる取材メモ(名前)

)

取材したり、発想したりしたことを、選んだり整理したりしよう。
(まずは、発想を広げることが大切です。)

テーマは、



伝える人は？

言いたいこと・伝えたいことは？

選んだ具体例は？

みんなで仕上げる作文プリントのふろく

名前

具体例（書きたいこと）に物語性をもたせて、実際に書いてみましょう。
（起こったできごと順に**時間軸の流れにそって**物語性をもたせて書いてみましょう。）

具体例

①

具体例

②

* 時間の流れに沿って書いてみよう。

* 時間の流れに沿って書いてみよう。

みんなで作る作文プリント
名前
を
書
い
て

はじめ

おわり

題名版

はじめ

おわり

題名

テーマ

題名

はじめ

--	--	--	--	--	--	--	--

なか（具体例 1・2）

なか（言いたいこと・伝えたいこと）

おわり

--	--	--	--	--	--	--	--

班で見合う確かめりリスト (名前)

第一段階・・・(「みんなで仕上げる取材メモ」が終わったら、班で見合おう。)
読み手に分かりやすく伝えるための取材発想ができていますか】

ア	自分【書き手】の言いたいこと・伝えたいことが読み手にとって分かりやすいですか。(「楽しかった」「すごいと思った」などの表現以外を使っていますか。)
イ	表の中に具体例が3つ以上書かれていますか。 一歩進んで・・・ オ 選んだ具体例のどちらをくわしく書きますか。またどちらを先に書きますか。
ウ	選ばれた具体例は、これから書き進めていくために書きやすい具体例が選ばれていますか。
エ	選ばれた具体例は、「言いたいこと・伝えたいこと」の裏付けにするのに適切ですか。また、自分の特徴が現れている具体例が選ばれていますか。

第二段階・・・(「みんなで仕上げる作文プリント」のなかが終わったら、班で見合おう。)
言いたいこと伝えたいことに具体例が生かされているか】
読み手に分かりやすく伝えるための記述ができていますか】

ア	具体例には、日付や地名、時間、場面など事実がくわしく書かれていますか。
イ	自分【書き手】の感想、気持ち、考えなどが具体例と言いたいこと・伝えたいことの両方に書かれていないですか。
ウ	具体例から、言いたいこと・伝えたいことを書くのに、文章は無理なくつながっていますか。(接続語(つなぎことば)の使い方に、間違いはないですか。)
エ	文字がていねいに書いてあり、文の中に誤字や脱字がないですか。また、文や言葉がぬけてないですか。
オ	「、」や「。」少なすぎたり、多すぎたりしていませんか。改行は適切ですか。
カ	習った漢字を使っていますか。
キ	「です・ます」と「だ・である」がまざっていませんか。
ク	一つ一つの文が、長すぎませんか。
ケ	「これ・それ・あれ」などの、指し示す言葉は適切ですか。
コ	文と文とのつながりや接続語の使い方は適切ですか。 サ 表現の工夫や文末の工夫などがしてありますか。

第三段階・・・(「みんなで仕上げる作文プリント」全体が終わったら、班で見合おう。)
【はじめ「なか」「おわり」がむりなくつながっているか、題名は適切か】
【読み手に分かりやすく伝えるための文章が書けているか】

ア	「はじめ」には、ことがらやできごと、人物などこれから書くことのおおまかな紹介が書かれていますか。(感想や考えなどは、書いてありませんか。)
イ	「おわり」には、言いたいこと・伝えたいことを受けて、テーマに沿って呼びかけや主張などが書かれていますか。
ウ	「題名」には、「なか」の内容に沿った題名になっていますか。

* 第二段階のエ、サも確かめてみよう。

班で見合う活動の進め方 例

第一段階

- 1、(司会者) これから第一回の見合う活動を行います。よく書いているところをほめられるように、説明を聞いたり、作文を見たりしてください。こうしたほうがもっとよくなるというところをアドバイスすることはいいのですが、絶対に悪口を言わないでください。一人必ず一度発言してもらいますので、一生懸命考えてください。では、発表者の人、説明をお願いします。

- 2、(発表者) わたしは(ぼくは)、二つの具体例を選びました。 と です。

この二つの具体例から、 (言いたいこと・伝えたいこと) ということを言いたいです。

わたしは(ぼくは) (例1)の例から、 だということを書き、
(例2)の例から、 だということを書いて、 につな
げたいと考えています。

以上で、発表を終わりにします。

- 3、(司会者)

今の発表を聞いて、「班で見合う確かめリスト」をもとにして、質問やよく書いているところ、アドバイスを言ってください。まず、「確かめリスト」のAについてお願いします。(区切りがついたり、時間がきたら「確かめリスト」イ、オも同じように話し合う。)

(すべて終わったら) さん) 君)、ありがとうございます。

第二段階 次のように進めてもいいが、ここは形式通りでなく自由に行いたい)

- 1、(司会者) これから第二回の見合う活動を行います。よく書いているところをほめられるように、説明を聞いたり、作文を見たりしてください。こうしたほうがもっとよくなるというところをアドバイスすることはいいのですが、絶対に悪口を言わないでください。一人必ず一度発言してもらいますので、一生懸命考えてください。では、発表者の人、説明をお願いします。

- 2、(発表者) わたしは(ぼくは)、 なかをこのように書きました。

(発表者は なかを読む。)

以上で、発表を終わりにします。

- 3、(司会者)

今の発表を聞いて、「班で見合う確かめリスト」をもとにして、質問やよく書いているところ、アドバイスを言ってください。まず、「確かめリスト」のAについてお願いします。(区切りがついたり、時間がきたら「確かめリスト」イ、サも同じように話し合う。)

(すべて終わったら) さん) 君)、ありがとうございます。

第三段階 次のように進めてもいいが、ここは形式通りでなく自由に行いたい)

- 1、(司会者) これから第三回の見合う活動を行います。よく書いているところをほめられるように、説明を聞いたり、作文を見たりしてください。こうしたほうがもっとよくなるというところをアドバイスすることはいいのですが、絶対に悪口を言わないでください。一人必ず一度発言してもらいますので、一生懸命考えてください。では、発表者の人、説明をお願いします。

- 2、(発表者) わたしは(ぼくは)、作文をこのように書きました。

(発表者は作文を読む。)

以上で、発表を終わりにします。

- 3、(司会者)

今の発表を聞いて、「班で見合う確かめリスト」をもとにして、質問やよく書いているところ、アドバイスを言ってください。まず、「確かめリスト」のAについてお願いします。(区切りがついたり、時間がきたら「確かめリスト」イ、ウも同じように話し合う。)

(すべて終わったら) さん) 君)、ありがとうございました。

【手がかり 取材メモで発想を広げよう (五年生用)】

(その1) 環境問題と聞いて、思いうかべることはどんなことですか？

身近な川や山、道路、街のこみやよこれ、落書きなど

- ・ 神流川・近くの山、よく行く公園、土師神社の回り、田や畑、
- ・ 家の周辺、学校の回り
- ・ 藤岡の市街地や商店街

空気によこれ

最近、息苦しく感じるがあった。

(藤岡市の中で、他の県・市町村に行つて)

- ・ 光化学スモッグについて知っている。
- ・ 自動車の排気ガスなど

地球温暖化やオゾン層の破壊について

- ・ 新聞やインターネットで調べたことを、身近に感じたことがある。
- ・ エアコンの使いすぎなどでおこる環境問題は？

身近な生物は？

最近、今までいた虫や生物がいなくなった気がする。

- ・ 虫や生物の大きさや色などが変わってしまった。
- ・ いるはずのない魚や生物がいる。

その他

(その2) 家族や自分自身で取り組んでいる環境対策はありますか？

- ・ ゴミを出さない工夫
 - ・ 風呂の残り湯などの再利用
 - ・ 牛乳パックの再利用
 - ・ ゴミの分別
 - ・ 又(は)パーなどのマイバックの利用
 - ・ 水などの節約
 - ・ 発泡スチロールやスーパリーのトレイなどの再利用
 - ・ 古新聞やペットボトルをゴミにしない活動
 - ・ 環境に優しい洗剤などを使ったりすること
- など

(その3) 伝える人はだれですか？

- ・ 家族や兄弟
 - ・ 友達、先生、クラスのみんな
 - ・ 地域の方々や市民、県民
 - ・ 日本国中の人々、世界の人々
- など

(その4) 具体例はこう書こう！(ここに気を付けて！)

自分の知っていることや調べたことをもとに、実際に自分が経験したことを具体例にしましょう。本やインターネットの知識だけでは、説得力に欠けます。自分自身でしか経験できなかったことを具体例にすることで、**「言いたいこと・伝えたいこと」**に説得力をもたせることができます。《自分の経験したこと》をキーワードに書いてください。

書く具体例が決まったら、その具体例について次のことを考えください。

・ 具体例のどちらを主に書くか、詳しく書く方を決めましょう。

(どちらを主にすれば、説得力が出ますか？)

・ 具体例をどのような順番にすればいいか、決めましょう。

・ 自分が文章を書くのに、書きやすい具体例を選びましょう。
できるだけ自分だけの、独自性のある具体例を書きましょう。

手がかり 具体例を書こう (五年生用)

(その1) 具体例の書き方

具体例は、読んでいる人がかんたんに理解でき、テレビを見ているかのように様子が想像できなくてはなりません。そのために次のことに気を付けて、具体例を書きましょう。

物語性をもたせましょう。(経験した順(時間の流れに沿って)に物語性をもたせて書きましょう。)

私の家では、ハツポウスチロールのトレイをスーパーに返しています。環境にとってもいいことをしていると思います。

(これだけ書けます。)

スーパーで肉を買う。
学校の授業で、ゴミについて学習するまでは何とも思わなかった。
スーパーのトレイのむだに気付く。
スーパーにトレイ返却コーナーがあることに気付く。
母に相談すると前から実行していたと言う。
母と環境について話をする。
これから自分がしなくてはいけないことについて考えた。

これを文章にします。

私をはじめに考えたことは、スーパーのトレイのことだ。その日、いつものように母といっしょに買い物をしてきた。その時、ふと学校の授業で学習したことを思い出した。肉のトレイはいつたいどうなってしまうのだろうか？このままゴミになってしまうのだろうか？「これだけのトレイをむだにしない方法は無いのか、私は買い物しながら考えていた。すると、スーパーの出口にトレイの返却コーナーがあることに気がついた。「トレイはむだになつていないのだ！」うれしくなって母に話した。すると母は、「何言ってるんの、・・・」

(例2)

ぼくは、最近笹川にごみが増えたことが気になっていました。笹川にみんながゴミを捨てなくなればいいと思います。ぼくはゴミを捨てないように気を付けます。



七月に奉仕作業があり、笹川清掃に行った。
PTAの人たちと協力して一生懸命清掃した。
空き缶・スナック菓子のふくろ、花火など、よくもまあこんなに捨てたものだと思う。
結局、ごみは大きなふくろで十二ふくろも出た。
笹川はごみはなくなったが、よごれていた。
ぼくは帰り道にこれからどうすれば、笹川がきれいになるのか考えた。
そのとき、この前調べたことが・・・



七月十九日、学校で奉仕作業があった。ぼくは、長ぐつをはいてPTAの人たちと笹川に向かった。笹川にはほとんど水はなかったけれど、その分ごみがたくさんあった。空き缶・スナック菓子のふくろ、花火などがたくさん捨ててあった。よくもまあこんなに捨てたものだと思う。ほどの多さだった。最初はきたなくていやだなあと思っていたが、最後は少しでも笹川にきれいになってほしいという気持ちに変わっていた。汗びっしょりになり、二時間しつかりごみ拾いをすると、なんと大きなふくろで十二ふくろもごみが出た。しかし残念に思ったのは、ごみはなくなっても笹川の水はきれいではないことに気付いたことだ。この原因は何なのか。ぼくたちが、家庭で流すきれいな水が笹川を汚しているのかもしれない。ぼくが笹川のためにできることは何だろうか、帰り道ずっと考えて・・・

具体例には、結果や感想をできるだけ書かないようにしましょう。
作文が苦手な人は、

くしました。くしました。そして、くりました。とても楽しかったです。
また、くへ行ってみたいです。

と書いたり、

楽しかったです。おもしろかったです。すごいと思いました。悲しかったです。
良かったです。つまらなかったです。まあまあでした。

のように、感想をやたら書く作文が多いように思います。結果ではなく、
のよう過程をたくさん書きましょう。

「言いたいこと・伝えたいこと」には、二つか三つの具体例に共通している自分の気持ち・
思い・主張・考えを書きましょう。

(その2) 接続語(つなぎことば)の使い方・書き方

接続語(つなぎ言葉)を使うと、ことばとことば、文と文、段落と段落をつなぐことができ
ます。接続語について考えていきましょう。以下のことに気を付けましょう。

必要などころだけに使い、使いすぎないようにしましょう。

(やたらに「そして」を使っている作文をよく見ます。気を付けて！)

具体例を並べるときは、次のように接続語を使いましょう。

まず・はじめに

次に

さらに

最後に

適した接続語を選びましょう。

(1) 前のことの自然な結果が後にくる。

《例》雨が降ってきた。だから・それでかさをさした。

(2) 前のことと対立する結果が後にくる。

《例》雨が降ってきた。しかし・でも・けれども かさをささなかった。

(3) 二つ以上のことがらをならべる。

《例》わたしは国語そして・また 社会がすきだ。

(4) 前のことから新しいことさらに加える。

《例》わたしは宿題に漢字練習をした。さらに・しかも 計算練習もした。

(5) どちらかを選ぶ。

《例》パンを食べますか。それとも・または ご飯を食べますか。

(6) 理由を言ったり説明をしたりする。

《例》遠足は中止した。なぜなら 雨が降ったからだ。

この商品は非常によく売れる。つまりこの商品がいいからだ。

(7) 話題を変える。

《例》このパンはとてもおいしいです。さて、ここで考えて欲しいことはどうやってこ

この公園には、来てよかった。ところで、どこでご飯にしますか。

具体例から、言いたいこと・伝えたいことにつづるときや、結論を書きたいときは、教科
書では、このように や「のびのび」とか、をよく使っています。

【手がかり

はじめ・おわり・題名 を書くこと】

はじめ

・はじめには、なかで書いたことをよく読み、次のことを書くこと。

* なかで書いたこと（できごと・人物・経験など）の大まかな紹介
* 問題提起をして、具体例で説明する。

（例）

ぼくには、今一生涯懸命がんばっていることが二つある。これからこの二つをみんなに紹介したい。

家に帰ると、私は時間に追われる生活が始まる。なぜなら、わたしがとてもがんばっているピアノが待っているからだ。

ぼくは今年の初め、ある一つのことを心に決めた。それは、朝礼で校長先生の話をしっぴかり聞くこと、そして体育集会で全力を出すことだ。

現在、環境問題がさげばれている。ぼくは身近な二つの出来事から考えていることがある。

いつもカブト虫をとっていた林が消えてしまった。あの林はどこにいつってしまったのだろうか。

母とスーパーマーケットで買い物をしているときに、二つのことを考えた。みなさんにもぜひ考えてもらいたいので紹介する。

おわり

・おわりには、言いたいこと・伝えたいことを受けて、テーマにそって読み手への投げかけや今後自分がどんなこと（努力していくこと・勉強していくことなど）をしていきたいかを書く。
・この文章を書き終えて、さらに気付いたことや感想を書く。

（例）

ぼくは、これから先も一生涯懸命がんばることを続けたいと思っている。みなさんも自分のがんばれることを見つけて続けてみてください。心の中に何かが生まれると思います。

私の挑戦は今始まったばかりだ。これからもピアノを続けることで自分自身を大きくしていきたい。

環境問題は自分の中の気持ちの持ち方を変えるところから始まる。ぼくはこれから毎朝家の前の道のごみ拾いをしようと思っている。みなさんも一緒にしませんか。

今回環境問題について作文を書いて、ぼく自身の行動が大切だということを変更して考え直すことができた。いい経験になった。

題名

・・・

なかにをじっくり読んで、そこから題名をつけましょう。
読み手が読みたいと思うような題名を、ひとひねりして考えてみましょう。